

# 日立製作所「Hitachi Investor Day 2025」総合分析レポート

2025年6月11日に開催された日立製作所の投資家向け説明会「Hitachi Investor Day 2025」は、同社の新経営計画「Inspire 2027」の詳細戦略を発表する重要なイベントとなった<sup>[1]</sup><sup>[2]</sup>。徳永俊昭社長兼CEOが主導するこの説明会では、デジタルセントリック企業への変革を核とした成長戦略が示され、投資家・アナリストから高い評価を獲得している<sup>[3]</sup>。特に、Lumada 3.0への進化、AI技術活用の拡大、グローバル展開の加速が注目を集め、株価は上場来高値を更新するなど市場からの強い支持を得ている<sup>[4]</sup><sup>[5]</sup>。

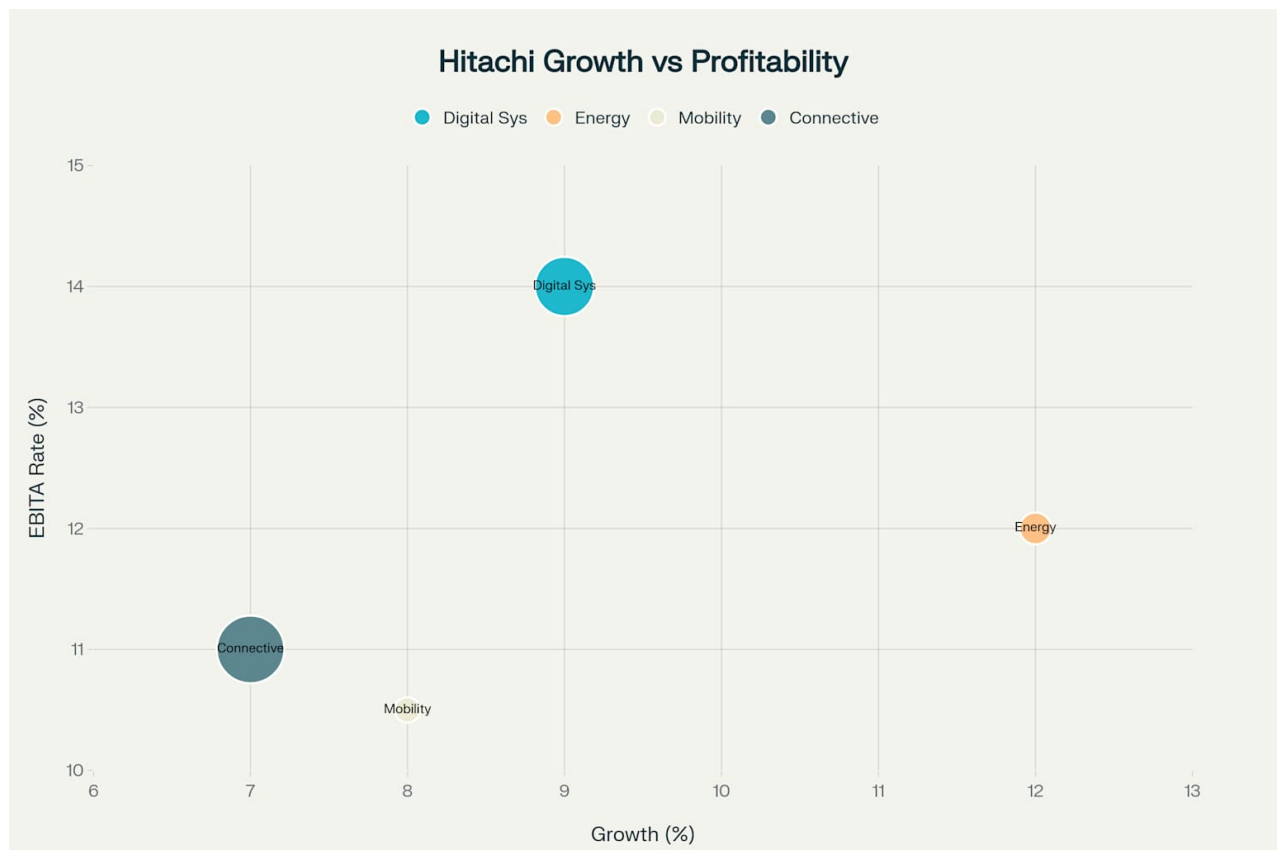
## Investor Day 2025の概要

### 経営戦略の基本方針

徳永社長は説明会の冒頭で、「日立はデジタルをコアに独自の価値をつくり出していくことで、社会イノベーション事業のグローバルリーダーを目指す」と強調した<sup>[3]</sup>。新経営計画「Inspire 2027」では、売上収益の年平均成長率7-9%、2027年度のAdjusted EBITA率13-15%、ROIC12-13%という意欲的な目標を設定している<sup>[6]</sup><sup>[7]</sup>。

### 主力4事業セクターの戦略

説明会では、デジタルシステム&サービス、エネルギー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの主力4事業セクターの責任者が各々の成長戦略を詳述した<sup>[8]</sup>。これらの事業はグローバル6極体制（日本、米州、EMEA、APAC、インド、中国）で展開される<sup>[7]</sup>。

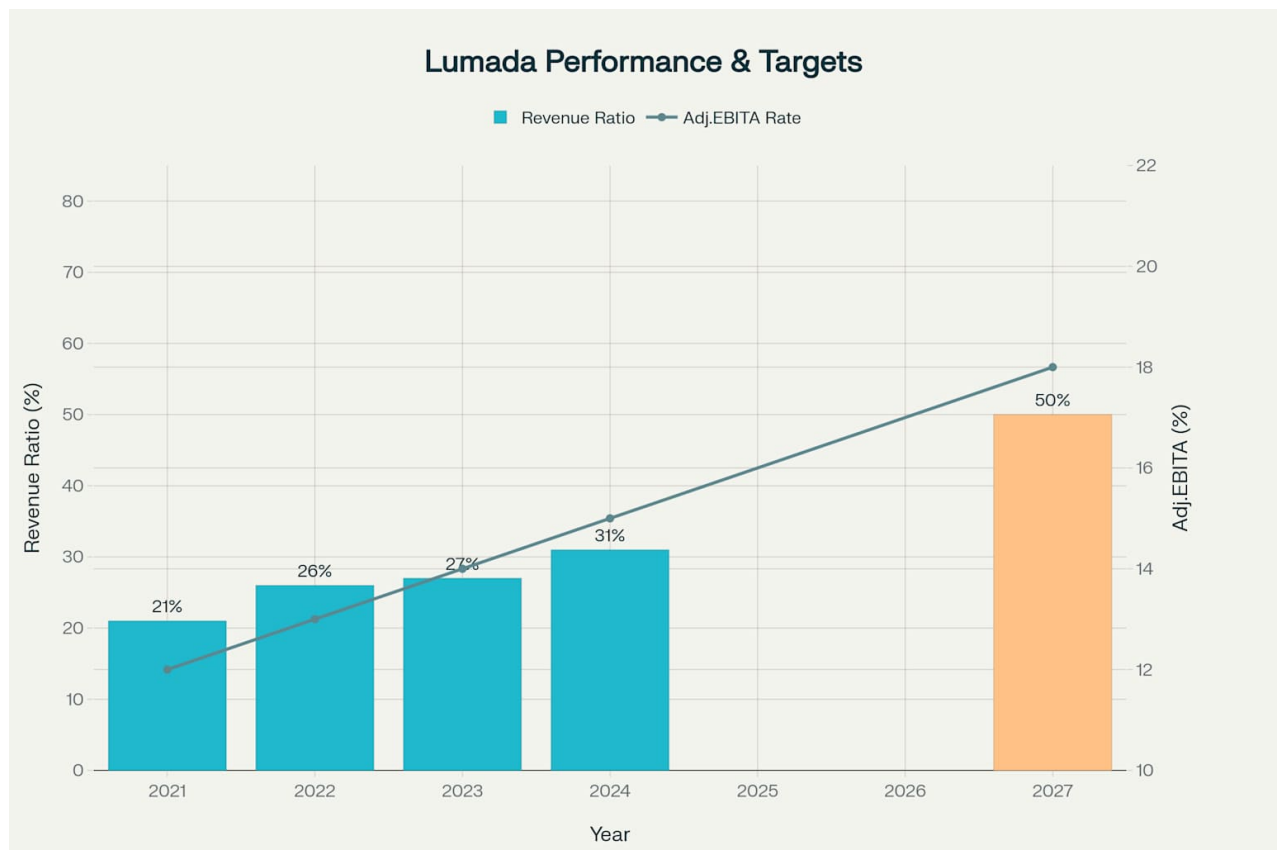


日立の主力4事業セクターの成長性・収益性・規模比較

## 成長性分析

### Lumada 3.0への進化

日立の成長戦略の中核を担うLumada事業は、AI技術を駆使した「3.0」への進化が発表された<sup>[3]</sup><sup>[9]</sup>。2027年度までにLumada売上収益比率を50%（現在31%）、Adj.EBITA率を18%（現在15%）まで引き上げる計画である<sup>[6]</sup>。長期的には売上収益比率80%、Adj.EBITA率20%という「Lumada 80-20」目標を掲げている<sup>[2]</sup><sup>[10]</sup>。



Lumada事業の成長実績と将来目標

## AI関連投資の大幅拡大

日立は生成AI向けに3年間で3000億円規模の投資を実行する<sup>[4]</sup>。この投資は人材育成、研究開発、データセンター整備に集中的に配分され、AI専門人材を2028年度までに5万人超まで育成する計画である<sup>[11] [4]</sup>。NVIDIAとの協業により開発された鉄道向けAIソリューション「HMAX」は、Lumada 3.0の代表事例として位置づけられている<sup>[3] [12]</sup>。

## 事業セクター別成長見通し

エネルギーセクターは最も高い成長性を示しており、2027年度までの年平均成長率11-13%、Adj.EBITA率12%超を目指している<sup>[8]</sup>。デジタルシステム&サービスセクターも高成長を継続し、北米地域では年率18%の成長を記録している<sup>[9]</sup>。モビリティセクターは、タレスGTS統合効果により更なる成長加速が期待されている<sup>[13] [8]</sup>。

## リスク分析

### 地政学的リスクへの対応

CFOセッションでは、米中関税リスクについて「直接的な影響は限定的だが状況を注視中」との見解が示された<sup>[14]</sup>。日立は多様な事業と地域のドメインナレッジを活かし、エンタープライズリスクマネジメント（ERM）体制を強化している<sup>[14]</sup>。

## 技術変化と競争環境

急速な技術進歩、特にAI分野における競争激化が主要リスクとして認識されている<sup>[14]</sup>。しかし、NVIDIAとの戦略的協業や継続的な研究開発投資により、技術的優位性の維持に努めている<sup>[12] [15]</sup>。

## 人材確保の課題

グローバルな人材獲得競争の激化が重要なリスク要因として挙げられている<sup>[14]</sup>。これに対し、業界トップ水準の報酬設定や譲渡制限付株式ユニット（RSU）制度の導入など、競争力のある人材確保策を実施している<sup>[11]</sup>。

## 海外展開戦略

### グローバル6極体制の強化

日立は主力4事業をグローバル6極（日本、米州、EMEA、APAC、インド、中国）で展開する体制を構築している<sup>[7]</sup>。特にモビリティ事業では50カ国以上での事業展開、300社を超える顧客基盤を有している<sup>[13]</sup>。

## M&Aによる事業拡大

2024年6月に完了したタレスGTS（16.6億ユーロ）の統合が順調に進んでおり、シームレスな統合によるシナジー効果が早期に発現している<sup>[13]</sup>。GlobalLogicを中心としたサービス事業の拡大により、北米地域での競争力が大幅に向上している<sup>[9]</sup>。

## 地域特性に応じた事業戦略

各地域の市場特性や顧客ニーズに対応した自律分散的な事業構造を構築している<sup>[6]</sup>。これにより、地政学的リスクの分散と地域密着型サービスの提供を両立している<sup>[7]</sup>。

## 人材戦略

### AI人材育成の大規模展開

2028年度までにAI専門人材5万人超の育成を目指す大規模な人材開発プログラムが発表された<sup>[11]</sup><sup>[4]</sup>。社内研修プログラムの強化に加え、グーグル、マイクロソフト、NVIDIAなどIT大手との提携を通じてAI活用ノウハウを蓄積している<sup>[4]</sup>。

## 組織文化の変革

「Agility」「Responsibility」「Transparency」を核とした新たな組織文化の醸成を推進している<sup>[11]</sup>。経営層からの直接対話や実践的教育を通じて、One Hitachiを体現する行動と起業家精神の浸透を図っている<sup>[11]</sup>。

## インセンティブ制度の強化

シニアリーダー層1000人を対象とした譲渡制限付株式ユニット（RSU）制度、全従業員15万人を対象とした従業員向け株式購入プラン（ESPP）の導入により、株主価値と従業員インセンティブの連動を強化している<sup>[11]</sup>。

## 知財無形資産戦略

### AI・データ分野の特許戦略

生成AIと特化型LLMの普及を受け、基盤部分のオープン化と差別化要素の保護強化を両立する戦略を採用している<sup>[16]</sup>。鉄道運行管理に特化したLLM構築など、ドメイン知識を活用した独自技術開発に注力している<sup>[9]</sup>。

### オープン・クローズド戦略の最適化

オープンソース活用と独自技術開発の最適バランスを追求し、エコシステム構築とパートナーシップ強化を図っている<sup>[16]</sup>。特に、社会課題解決に知的財産を活用する「IP for Society」の取り組みを推進している<sup>[16]</sup>。

### データ利用権フレームワークの構築

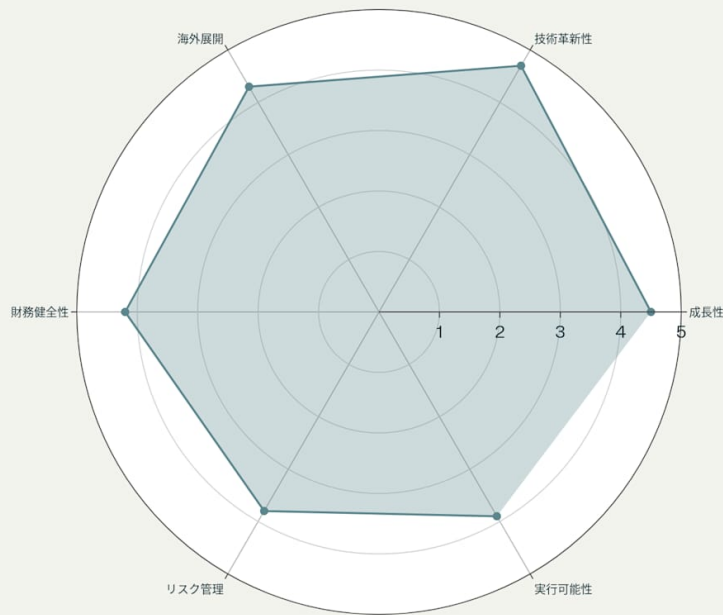
データ権利・利用条件の法的・契約的フレームワーク整備を進めており、「データ利用権証明書」の実用化を検討している<sup>[16]</sup>。これにより、データ活用ビジネスの基盤強化を図っている<sup>[16]</sup>。

## ステークホルダーからの評価

### 投資家・アナリストの反応

アナリストコンセンサスは「買い」判断となっており、強気買い8人、買い5人、中立2人の内訳である<sup>[5]</sup>。アナリストの平均目標株価は4,643円で、現在株価から16.36%の上昇が予想されている<sup>[5]</sup>。

## 日立Investor Day 2025 評価



### 投資家・アナリストによる日立Investor Day 2025評価

#### 証券会社の評価

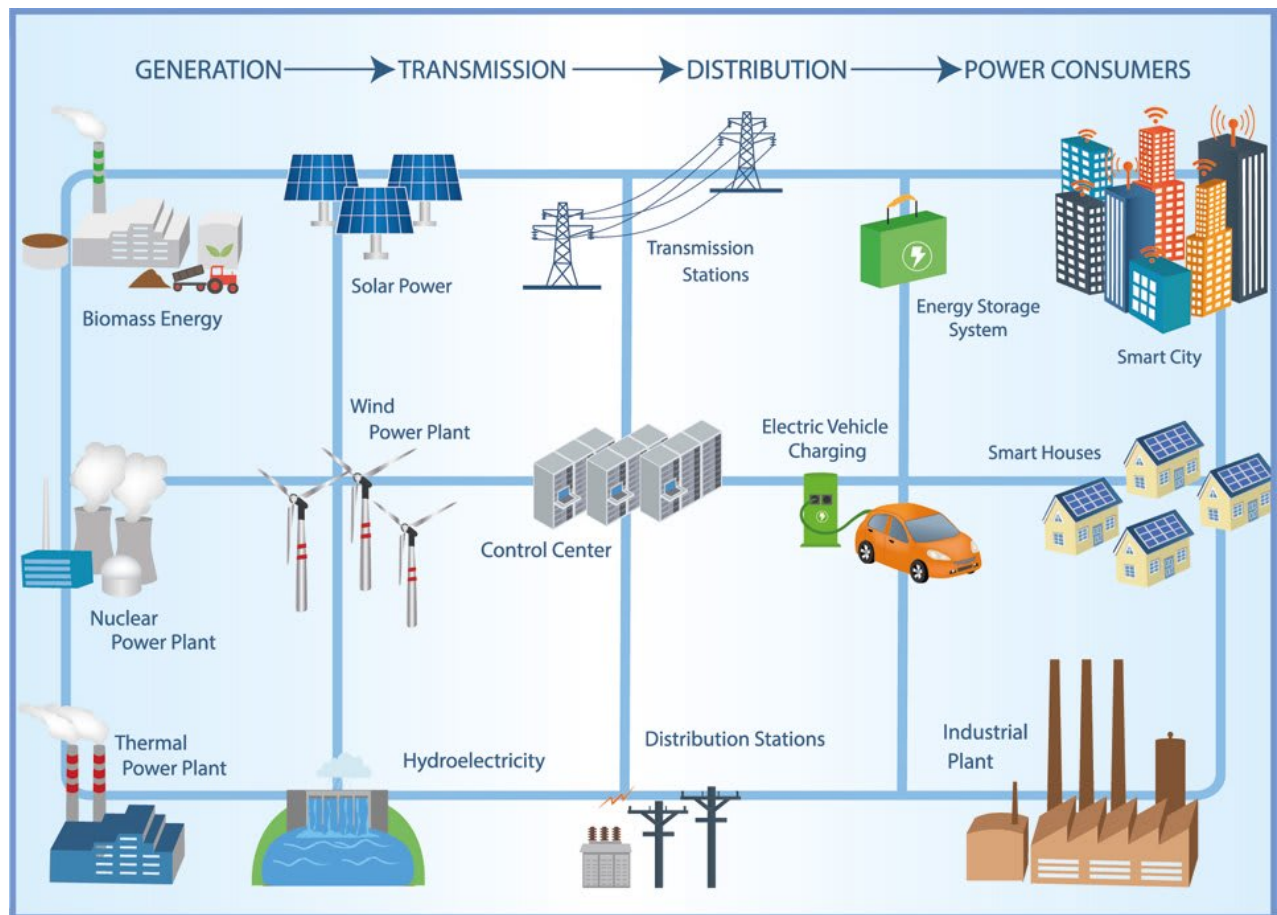
ゴールドマン・サックス証券は「各事業の利益率改善見通しが想定以上」と評価し、特に送配電網事業の高利益率ビジネスモデルを高く評価している<sup>[4]</sup>。同証券は「ハードの売り切り事業では実現し得なかった水準の利益率を実現するビジネスモデルが見えてきた」とコメントしている<sup>[4]</sup>。

#### 株式市場の反応

株価は2025年6月11日に上場来高値を更新し、昨年末比68%上昇（日経平均17%を大幅に上回る）を記録した<sup>[4]</sup>。時価総額は15兆円の大台を突破し、国内上場企業第6位となっている<sup>[4]</sup>。

#### メディアの評価

主要メディアは概ね好意的な評価を示している。日経新聞は「デジタルをコアとした真のOne Hitachi」への変革を評価し<sup>[3]</sup>、クラウドWatchはLumada 3.0への進化とAI活用戦略を高く評価している<sup>[8]</sup>。



A diagram illustrating the components and flow of a modern smart grid, from diverse energy generation sources to various power consumers, including smart homes and electric vehicle charging.

## 結論

日立製作所の「Hitachi Investor Day 2025」は、同社のデジタルセントリック企業への変革戦略を明確に示し、投資家・アナリストから高い評価を獲得した重要なイベントであった<sup>[11] [13]</sup>。特に、Lumada 3.0への進化、AI技術活用的大幅拡大、グローバル展開の加速という3つの成長エンジンが市場から強く支持されている<sup>[14] [19]</sup>。

成長性の観点では、年率7-9%の売上成長目標と意欲的なLumada事業拡大計画が評価されており、特にエネルギーとデジタルシステム&サービス事業の高成長が期待されている

。リスク管理については、地政学的リスクや人材確保競争などの課題はあるものの、総じて管理可能な水準にあると判断されている<sup>[14]</sup>。

海外展開戦略では、グローバル6極体制とM&A統合効果により、持続的な国際競争力の向上が見込まれている<sup>[13] [17]</sup>。人材戦略においては、AI人材5万人育成という大規模な取り組みが注目を集めているが、実行面での課題も指摘されている<sup>[11]</sup>。知財無形資産戦略では、AI時代に対応した新たな知財戦略の構築が進められている<sup>[16]</sup>。

総合的に見て、日立の「Inspire 2027」戦略は投資家・市場関係者から高い評価を受けており、デジタルセントリック企業への変革が成功すれば、さらなる企業価値向上が期待できる状況にある<sup>[4] [15]</sup>。

1. <https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/06/0611.html>
2. [https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/06/0611/20250611\\_03\\_connective.pdf](https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/06/0611/20250611_03_connective.pdf)
3. [https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/06/0611/20250611\\_01\\_mobility.pdf](https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/06/0611/20250611_01_mobility.pdf)
4. <https://www.youtube.com/watch?v=jCDM24QUgz8>
5. <https://social-innovation.hitachi/ja-jp/article/hitachiinvestorday2021/>
6. <https://finance-frontend-pc-dist.west.edge.storage-yahoo.jp/disclosure/20250610/20250610586179.pdf>
7. <https://www.youtube.com/watch?v=nYxaQELnJF8>
8. <https://www.hitachi.co.jp/IR/library/irday/index.html>
9. <https://www.hitachi.co.jp/IR/>
10. <https://finance-frontend-pc-dist.west.edge.storage-yahoo.jp/disclosure/20250610/20250610586157.pdf>
11. <https://www.marketscreener.com/quote/stock/HITACHI-LTD-6492458/news/Hitachi-Investor-Day-2025-50198657/>
12. [https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/04/0428/f\\_0428pre.pdf](https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/04/0428/f_0428pre.pdf)
13. <https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/2010738.html>
14. <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/352b636184838b83640c.pdf>
15. [https://note.com/commons\\_toshin/n/n99732cba50c8](https://note.com/commons_toshin/n/n99732cba50c8)
16. [https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/06/0611/20250611\\_06\\_cfo\\_session.pdf](https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/06/0611/20250611_06_cfo_session.pdf)